



▲S48 学校給食センター



▲S50年代 献血風景



▲S54 救急分遣所完成



▲S57 矢祭山友情の森オープン



▲S61 町村合併30周年記念 人文字



▲H元 新夢想橋落成



▲H3 館山ランドログハウス



▲H6 ふるさとづくり事業講演会



▲H7 せせらぎ荘オープン



▲H8 国際交流員招致の開始

昭和三十年、豊里村と高城村の南部(大字関岡、内川、茗荷)が合併して矢祭村となる。  
教育文化の充実、農林業の振興、保健福祉の充実、福祉施策の推進、生活環境整備や人づくり事業の推進等が矢祭町の歴史を物語る。近年においては、ユーパル矢祭などの総合施設が新たなコミュニケーションの場として活用されている。

### 町の沿革史

<p><b>古代</b> 成務天皇代 養老二年 陸奥の国石城郡吉野を分ちて石井国に属すその後陸奥の国に合併</p> <p><b>中世</b> 平安時代 (倭名抄の頃) 鎌倉時代 南北朝時代 室町時代</p> <p><b>近世</b> 江戸時代 慶長八年 慶長十三年 享保十四年</p> <p><b>近代</b> 明治時代 明治四年 明治九年 明治十一年 明治十二年 明治二十二年</p> <p><b>現代</b> 昭和三十年 昭和三十一年 昭和三十三年</p>	<p>東夷の地 陸奥の国石城郡 陸奥の国高野郡 その後陸奥の国に合併</p> <p>国・郡・里の別ありて白川郡は 常世・高野・依非等十七郷を分ち 陸奥の国高野郡・白川郡に分れる 結城氏の所領、高野郡 陸奥の国高野郡南郷のも高野郡廃止され 白川郡となる</p> <p>佐竹氏の所領 白川郡</p> <p>幕府直轄領御倉代官 御倉藩領 幕府直轄領 御代官</p> <p>御倉のち高野郡 福島県 郡区制される東白川郡と西白川郡 町制定めて豊里・石井・高城の三町となる</p> <p>矢祭町誕生(三村合併) 矢祭町発足(町制施行)</p>
--	---